

08年度第3四半期
決算補足資料

2009年2月6日

沖電気工業株式会社

2008年度第3四半期 決算について

- 1) 事業別セグメント情報
- 2) 営業利益の変動要因
- 3) P/Lの概要
- 4) B/Sの概要
- 5) キャッシュフローの状況

※比較のための前年同期の数値については、昨年公表時のものを使用しています。

※「第3四半期累計期間」を「第3四半期」で表示しています。

※本資料における予想、見通し、計画等は、現時点における事業環境に基づくものであり、今後の事業環境の変化により実際の業績が異なる可能性があります。

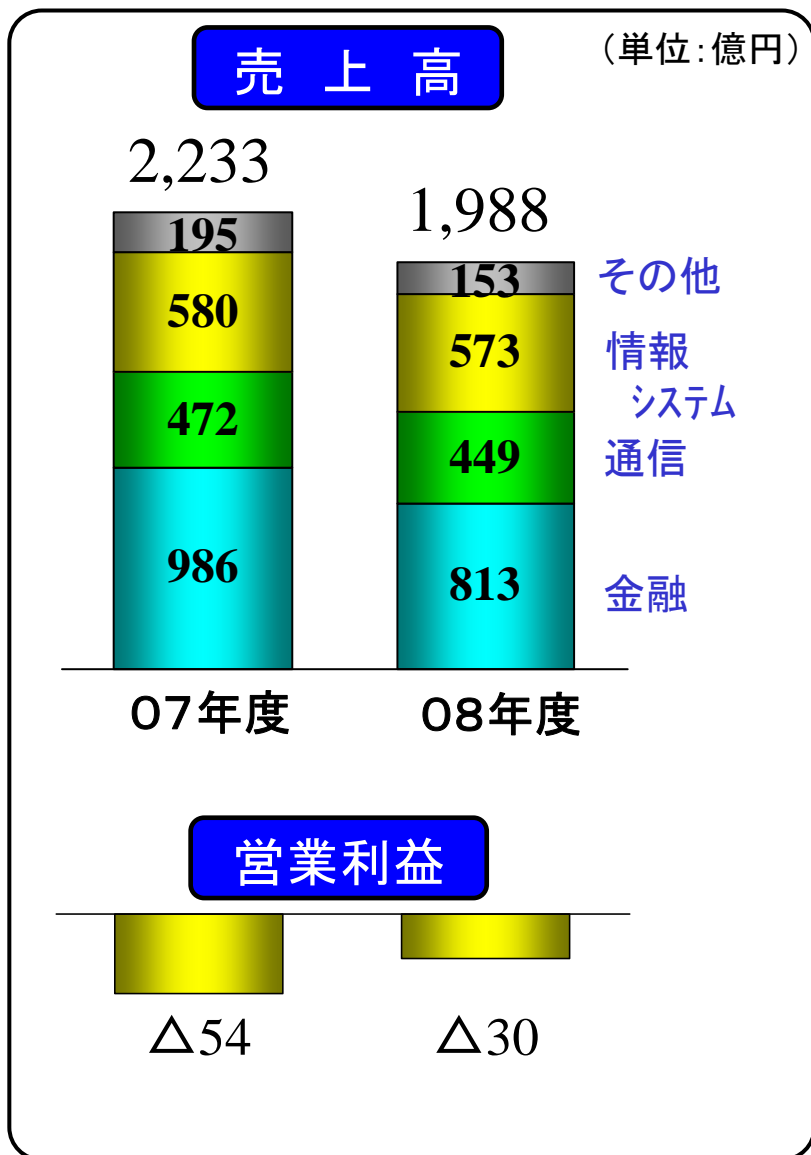
事業別セグメント情報(サマリ)

【3Q累計:対前年比較】

- 半導体は08年10月に子会社株式の95%譲渡、上期業績悪化が大きく46億円減益
- 情報通信は、売上高減少の中でも収益は改善
- プリントは、為替影響に加え競合激化による価格低減が激しく減収減益
- 主に子会社の自主事業である「その他セグメント」は、売上高51億円減収、営業利益36億円の大減益。要因は、経済環境の急速な悪化を受け、電源やモーター関連の部品事業、あるいは受託生産事業などの採算が悪化
- その結果、半導体を除き、売上高は423億円減収、営業利益は10億円減益

(9ヶ月累計)	売上高		営業利益	
	07年度	08年度	07年度	08年度
情報通信	2,233	1,988	△54	△30
プリンタ	1,342	1,215	68	62
その他	269	218	27	△9
消去・本社費	-	-	△67	△59
小計	3,844	3,421	△26	△36
半導体	1,029	541	△5	△51
合計	4,873	3,962	△31	△87

事業別セグメント情報【情報通信】



■ 金融:

売上高は、国内金融機関向け営業店端末および中国向けATMで増収、郵政向けは民営化需要一巡で大幅減収。営業利益は微減。

■ 通信:

売上高はGE-PONの出荷台数増による増収がある一方、事業の選択と集中の加速による低収益事業の縮小などがあり減収。営業利益は採算性向上などにより改善。

■ 情報システム:

低収益事業の縮小や法人向け各種システム売上が減少。営業利益は改善

■ 営業利益:24億円の改善

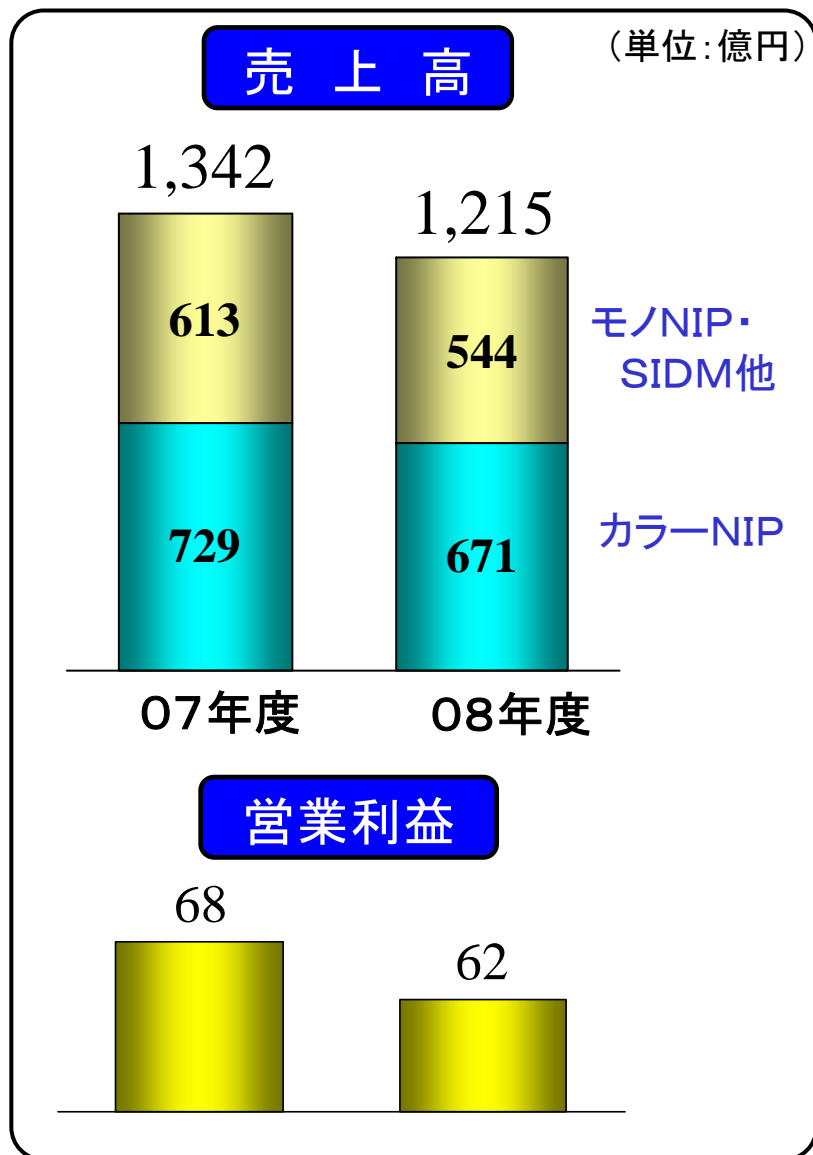
売上減少による限界利益の減少はあるものの、調達コスト低減およびVE等に加え、低収益事業の売上減による採算性の良化、費用削減効果などにより吸収

ATM: Automated Teller Machine

GE-PON : Gigabit Ethernet Passive Optical Network

VE: Value Engineering

事業別セグメント情報【プリンタ】



■ カラーNIP

為替影響に加え、価格下落などにより減収、消耗品は堅調。営業利益は増益。

■ モノNIP・SIDM他

- ・モノNIPは新商品投入による積極展開で出荷台数が増加
- ・SIDMの出荷台数は、市場全体の縮小により欧米向けが減少、新興国向けは増加
- ・為替影響もあり全体では減収。営業利益は価格下落およびSIDMの減少などで減益

■ 為替影響: 売上高▲98、営業利益+2

■ 営業利益: 6億円の減益

調達コスト低減およびVEの効果があったものの、価格下落や物量減による限界利益減を吸収できず減益

NIP: Non-Impact Printer
SIDM: Serial Impact Dot Matrix

営業利益の変動要因

- (半導体セグメントを除く要因)

調達コスト低減およびVE、低収益事業の売上減少による採算性改善などの増益要因があるものの、売上減少に伴う限界利益の減少、価格下落などが大きく、10億円の減益

(単位:億円)

	07年度第3四半期実績	△31
	08年度第3四半期実績	△87
	営業利益増減	△56
	半導体セグメントの利益増減	△46
	半導体セグメント以外の利益増減	△10
主要 変動 要因	物量増減および機種構成差	△60
	価格下落	△40
	為替影響	+15
	調達コスト低減およびVE	+50
	固定費変動	±0

P/Lの概要

(単位: 億円)

(9ヶ月累計)	07年度	08年度
売上高	4,873	3,962
営業利益	△31	△87
営業外収支	△59	△49
経常利益	△90	△136
特別損益	△9	(*) △271
税引前利益	△99	△407
法人税等	36	74
当期純利益	△135	△481

(*)

第3四半期(3ヶ月): 87億円

【主な要因】

一部の在外子会社が連結範囲から外れたことにより、為替換算調整勘定74億円を取崩
(ただし、純資産には影響しない)

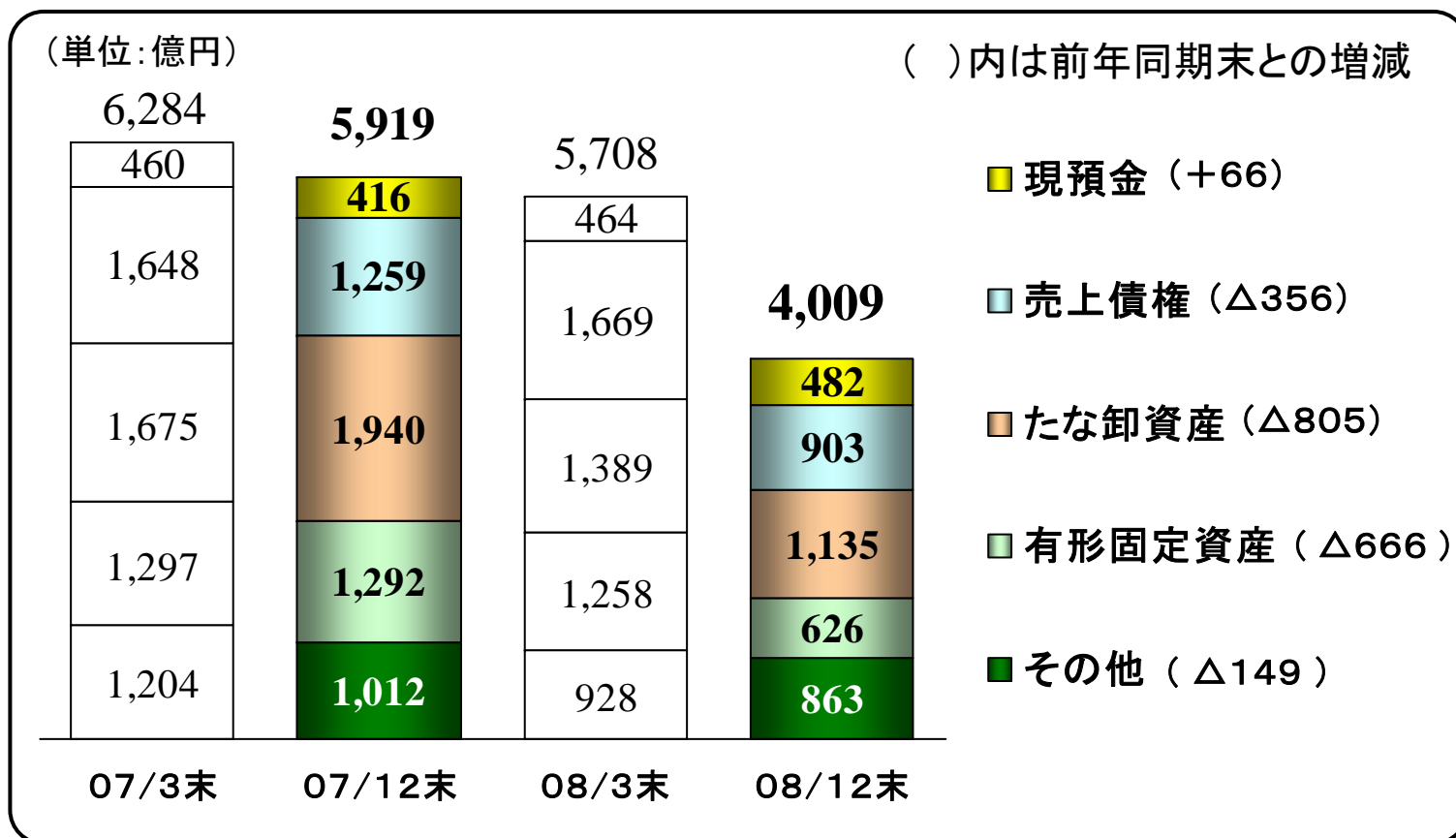
<実勢為替レート>

	07年度	08年度
USD	117.3	102.9
Euro	162.8	150.7

B/Sの概要 【資産の部】

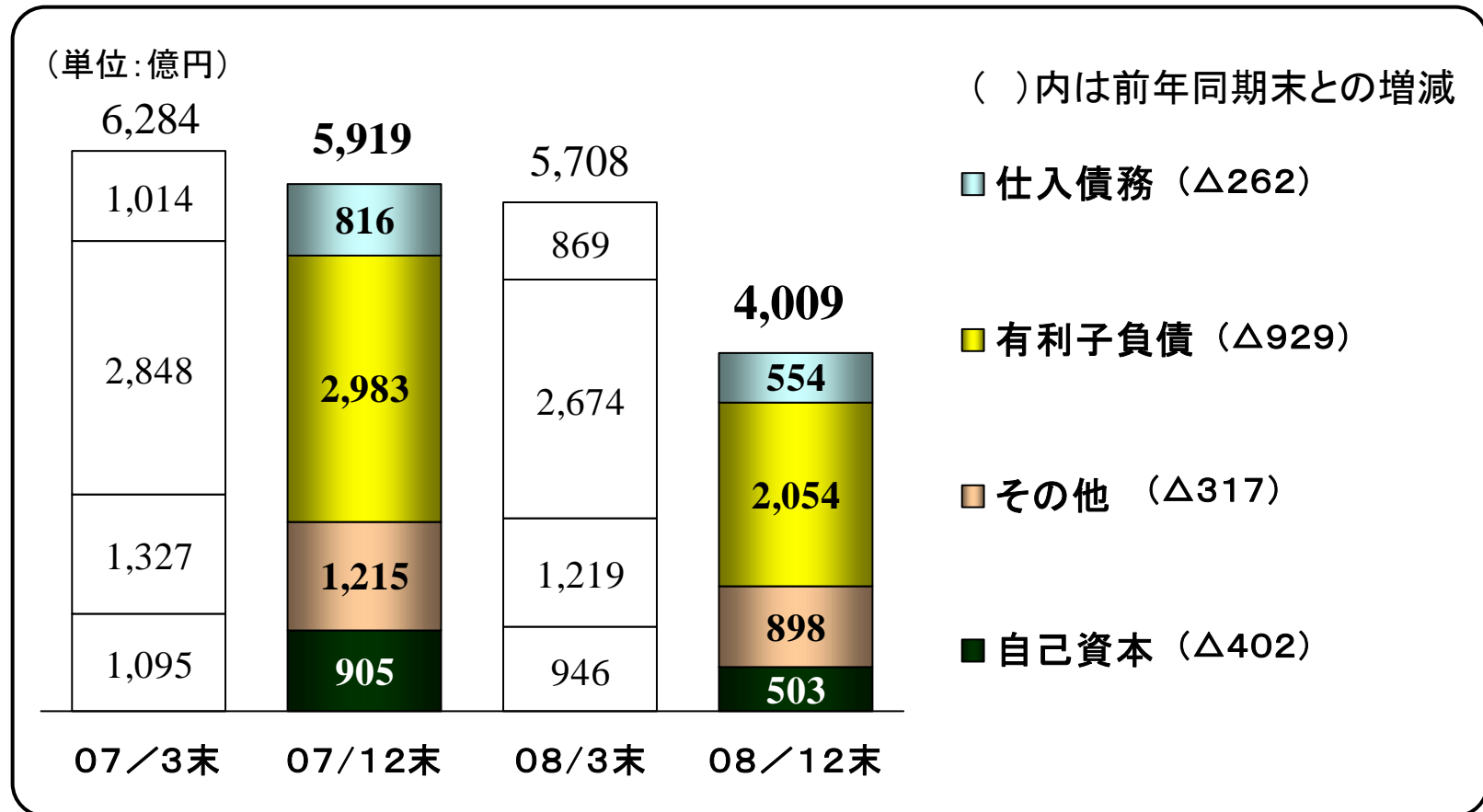
07/12末の半導体セグメントを除く総資産は、4,541億円と想定

- たな卸は削減活動、為替影響などにより減少
- 現預金は半導体事業の株式譲渡対価を受領し、その一部を有利子負債の返済に充当したことなどから増加



B/Sの概要 【負債・純資産の部】

- 有利子負債は圧縮を進めたことにより、前年比929億円減少
- 自己資本は、当年度の当期利益の欠損を主因に、402億円減少



キャッシュフローの状況

- 半導体子会社の株式譲渡などにより、フリー・キャッシュフローは前年比845億円の収入増。その資金の一部を有利子負債の返済に充当したため、財務キャッシュフローは同662億円の支出増。
(単位:億円)

(9ヶ月累計)	07年度	08年度	備考
I 営業キャッシュフロー	88	92	
税金等調整前当期純利益	△99	△407	
減価償却費	254	213	
運転資金の増減	△69	135	
その他	2	151	
II 投資キャッシュフロー	△216	625	
設備投資支払額	△196	△152	(*) 半導体子会社株式売却による収入を含む
その他投資活動	△20	(*) 777	
フリー・キャッシュフロー(I + II)	△128	717	
III 財務キャッシュフロー	74	△588	
社債償還	△95	△200	
長短借入金の増減他	169	△388	
キャッシュフロー計(I + II + III)	△54	129	
IV 現金同等物等の期末残高	456	604	